

上毛

Happy New Year!
2022

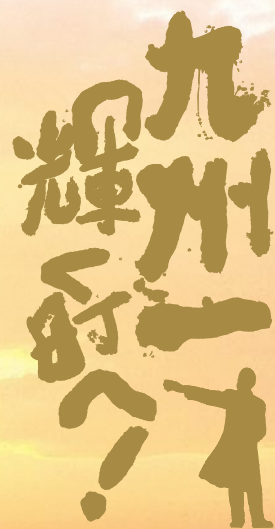
1

こうげ町広報 January 2022
VOL.195

CONTENTS

- 町の揭示板 2
- 町の話 16
- カルチャー 19
- 町の情報ひろば 20
- 上毛の宝 22

 <https://www.town.koge.lg.jp>



町の花(春) 桜



町の花(秋) コスモス



町の木 梅

〒871-0992
福岡県上毛郡上毛町大字垂水1-32-1
TEL 097-972-3111
FAX 097-972-4664

人の動き

11月30日現在

●世帯数 3,234 (+6)
●男 性 3,576 (+2)
●女 性 3,913 (+4)
●人 口 7,489 (+6)
65歳以上 2,698 (-3)
36.0%
75歳以上 1,414 (±0)
18.9%

うち外国人

●人 口 52 (±0)
●男 性 28 (-1)
●女 性 24 (+1)
●世帯数 49 (±0)
(うち混合世帯4)

参考

平成17年10月11日
合併時
●人 口 8,499
●世帯数 3,057

ごみの量

11月30日現在

●可燃ごみ 135.95t
(+16.44t)
●カンベツボトル 2.31t
(-0.75t)
●びん 3.16t
(-0.34t)
●古紙他 9.41t
(-1.36t)
●可燃粗大 3.80t
(+0.20t)
●不燃 9.80t
(+1.90t)
●プラスチック製容器包装 2.08t
(+0.38t)
●紙/バック、白色トレイ 0.05t
(+0.01t)

※()内は前月増減

 環境対応型植物油インキ
を使用しております。

1月4日(火)令和4年上毛町成人式にて記念講演を行って
いただく中村拓志さんをご紹介します。

NAP建築設計事務所 代表

建築家 中村 拓志

Hiroshi Nakamura

※プロフィールなどは広報12月号4ページをご覧ください。

私は建築設計を生業にしており、地域の産業やそこで産
出される建材、職人の技を設計に取り入れ、そこにしかない
建築や空間、そして体験を創り出すことを意識しています。建
築を通じて地域を応援し、利用する人々のことを想い、そこ
でのふるまいに寄り添うような建築を世の中に創りたいとい
う思いで日々活動しています。

建築家の道を志したのは小学4年生のときで、小学1年生
のときに大阪府堺市から金沢市の郊外の自然豊かなエリア
へ引っ越したのですが、私にとってこの引っ越しは、それま
での自分の居場所の喪失でした。転校先の学校に上手く馴
染めず、自分の心地よく過ごせる場所として、豊かな自然の
中に秘密基地やツリーハウスを制作するようになりました。そ
んな姿をみた父親から、建築家という職業を教えてもらい、
志すようになりました。

私は建築家として、様々な地域と関わってきました。上毛
町においても、2021年3月に南吉富小学校の南吉富放課
後児童クラブが竣工しました。現在は上毛町立体育館を安
雲にて工事中で、2023年2月に竣工予定です。児童クラブは
上毛町に古墳時代から存在する百留横穴墓群から着想を
得ました。洞窟のような楽しさと一人でも心地の良い居場所
を子供たちに提供しようと設計しました。体育館は黒川を挟
んで隣接する新吉富保育所とげんきの杜を結び付け、出会
いと交流が生まれるコミュニティ型の体育館を目指していま
す。

この仕事の魅力は、地域の美しい風景と美味しい食材、
そして魅力的な人々と出会い学べることです。その町の特



© KEI Tanaka

徴、いいところを発見し伸ばしていく。それが現代の都市や
社会の中で、どんな意味を持つのかを膨らましていくことが、
町づくりに関わる建築家として必要なことだと思っています。
単純に敷地を与えられて、与えられたプログラムから考える
というよりは、町のブランディングに関わる観点から設計に
取り掛かるようにしています。これからの建築は、地域社会、
地域の産業、職人、素材と呼応しながら、その地域をより魅
力的にしていくにはどうしたらいいかという観点から設計を
するべきだと考えています。

私はもっと上毛の良さを建築に取り入れていきたいです
し、講演では皆さんと一緒に上毛の特長について考えてみ
たいと思います。既に就職や進学で都市部に移った方もお
られるかもしれませんが、しかし、いつかは上毛に帰ってきて、
その魅力を自分たちで伸ばしていってほしいと思います。



町の未来を担う「上毛の宝」

ポッポ保育園

仏様におまいり

11月12、13日に保育園の隣のお寺で御正忌というお
勤まりがあり、年長組さんがおまいりに行きました。大
きな本堂や正面の仏様に驚いた様子でしたが、みんなで
仏様に手を合わせ、お経を聞き「なむあみだぶつ」と唱え
ました。

副住職さんより御正忌という日はどういう日なのか、
毎日元気に過ごせていること、食事ができることをお家
の人に「ありがとう」という感謝の気持ちを持って過ご
していきましょうと教えていただきました。

